

地域のつながり！ 減量のたのしさ!!

=きしわだ= 推進員だより

「推進員だより」では岸和田市廃棄物減量等推進員の活動や市の施策などを紹介します。

平成27年(2015年)

第26号

(6月発行)

編集と発行

岸和田市生活環境課

電話072(423)9465



今年度4月より始めました「ペットボトルの分別収集」。従来の資源ごみ「空きビン・空きカン」の排出時に、「ペットボトル(本体のみ)」も一緒に入れて出してもらっていますが、市民の方のご理解、また町会関係者及び推進員の皆さまのご協力によりまして大きな混乱もなく、おおむね順調に分別されているといった収集現場からの報告も受けております。しかし、一部市民の中には、「プラスチック製容器包装(プラスチック類)」の中に「空きカン・空きビン」を一緒に入れられる方が居たりと、少々混乱されていた方もいらっしゃるようでした。

他にも、昨年度まで資源ごみの回収日が「祝日」の場合はお休みとなっており、「まちがって出されている」などの問合せもよく寄せられておりました。その件について、住民の皆様及び推進員の方々に対しご迷惑をおかけしておりましたが、今年度より「祝日」の日(年末年始除く)も資源ごみの回収を実施しております。

市では、今後も正しい分別・排出方法に対する啓発に努めてまいります。「ペットボトルの分別収集」、7月より発売となる「普通ごみの有料指定30ℓ袋」などとお合わせ、今後も各地域におきましてより一層のご指導等のご協力、よろしくお願ひ申し上げます。

なお、スーパーなどに設置しています「ペットボトルの回収ボックス」につきましても従来通りご利用いただけますので、買い物のついでなど、是非ご活用ください。

「ペットボトルの本体」は「カン・ビン」と一緒に同じ袋で。(〇〇)ラベルとキャップは「廃プラスチックごみ(プラスチック製容器包装ごみ)」に!。「廃プラスチックごみ」は右記マークの付いているものが対象です。すすいで落ちない汚れが付いていれば「普通ごみ」に。(〇〇)



“リサイクルの優等生” ペットボトル

ペットボトル本体にはふた(キャップ)やラベルが付いていますが、ペットボトル本体(PET)とは異なるプラスチック素材で出来ているため、**プラスチック製容器包装(プラスチックごみ)**の回収日に出していただいております。「ペットボトル」とは、素材である「ポリエチレンテレフタレート」の頭文字“PET”(POLY ETHYLENE TEREPHTHALATE)をとった略語であり、つまり「PET素材を使ったボトル」という事になります。表示されている数字は素材を表し、プラスチックの種類によって1~7まであり「1」の「PET」のみ表示が義務付けられています。

私たちの生活の中ですっかり定着した感がありますペットボトル。しかしそれにともなって、ごみとして排出される量も増加してきました。ペットボトルは優れたプラスチック素材となっており、資源としての価値が高く、再利用品に生まれ変わる事が出来たり、再びPETボトルにリサイクルされたりと、あらゆる活用ができます。

回収された使用済みペットボトルが25%以上原料として使用されていますリサイクル製品(衣料品・生活用品など)には、ペットボトル協議会が認定した右記の「ペットボトルリサイクル推奨マーク」が付いています。このマークを目印にペットボトル再利用品の積極的なご利用もお願いいたします。



「面倒くさい」から「もったいない」へ

地球規模の環境問題は、日々私たちの足元から起きている問題です。日々の生活で「面倒くさい」という便利さに慣れ親しんだ生活様式を変えていくことが求められている今、世界からも注目されている日本語『もったいない』という言葉をもう一度再認識することも必要となっています。

♥♥日本から生まれた「もったいない」が今、世界をつなげる合言葉「MOTTAINAI」へ♥♥

環境分野で初のノーベル平和賞を受賞したケニア人女性「ワンガリ・マータイさん」が、2005年の来日の際に感銘を受けたのが「もったいない」という日本語でした。

「Reduce（減らす）・Reuse（再使用する）・Recycle（再資源化する）」という環境活動の3Rをたった一言で表せ、自然や物に対する敬意が込められているような言葉が他に見つからなかったそうです。そのためマータイさんは、かけがえのない地球資源に対する“尊敬の念”が込められている言葉『もったいない』を、そのまま環境を守る世界共通の言葉「MOTTAINAI」として広めることを提唱しました。

「廃食用油」及び「刃物類の回収」を右記の日程で予定しております。当日、刃物類の回収に使用していただく『カギ付きの専用箱』を持参いたします。回収時間終了後はカギを掛けて下さい、当日巡回しております職員が回収いたします。

回収日の約一ヶ月前に町会長（自治会長）様へも回覧等を配布いたしますので、住民の皆様への周知、ご指導よろしくをお願いいたします。
（一部、実施していない町会（自治会）もございます）



7月12日（日）
八木南校区
（新小松里町を含む）

7月19日（日）
常盤校区

8月23日（日）
修斉・東葛城校区

9月6日（日）
八木校区

今日からはじめる3R

「3Rふれあいフェア」のお知らせ

7月5日（日）岸和田市貝塚市クリーンセンターにて「岸和田・貝塚3Rふれあいフェア」が開催されます。ごみの3R（リデュース・ごみを減らす）（リユース・くり返し使う）（リサイクル・資源として再び利用する）について、イベントを通じて楽しく学んでみませんか？ \(\^o^)/

- ★「クリーンセンター・バスツアー」 バスに乗車して、普段見れない工場内のあらゆる場所を車窓から見学します。
- ★「親子で作ろう・パッカー車」ペーパークラフト教室（15歳以下）
- ★「ペットボトル 水ロケット発射体験」 ペットボトルを使用して作ったロケットに水と空気を入れて飛ばします。
- ★「リサイクルエコマジックショー」 家庭から出るごみを活用したマジックショーです。
- ★「今日からはじめる3R 紙しばい」 紙しばいを通じて楽しく3Rを学び、体験できます。
- ★模擬店では、きざみうどん・フランクフルトの販売も予定しています。

★他にも、大人から子供まで楽しめる様々な催しが用意されています。但し、イベント内容によっては受付時に整理券を配布し、定員になり次第締め切らせていただく場合があります。

★福祉センター（野田町）より無料の送迎バスを運行いたしますので、左記の時刻表をご確認ください。尚、施設内は土足厳禁となっていますので上履きを持参してご来場ください。

●日時：7月5日（日）（雨天決行）

●時間：午前10時～午後3時

イベント開始時間・申込など、お問合せは下記までお願いいたします。

「岸和田・貝塚3Rふれあいフェア」についてのお問合せ
岸和田市貝塚市清掃施設組合 総務課
岸和田市岸之浦町1-2
電話：072-436-4453

無料送迎バス 時刻表

出発時刻	出発場所		3Rふれあいフェア会場 出発 (クリーンセンター)	
	時	分		
出発時刻	9	40		
	10	20	40	
	11	00	40	20
	12	20		00 40
	13	00	40	20
	14			00 40
	15			20

- 現在でも「小さな金属類」の回収のたびに刃物類を持参して来られます。
- 回収日程表の拡大ポスターを各町迄配布願いたい。
- 粗大ゴミの処理の仕方（順番、流れ）を、くわしく（細かく）知りたい。（教えてほしい。）

最近の製品は素材も複雑になり、簡単に分解、分別できない品物もたくさんあります。「埋立ごみ」の分別についてや、実施日につきましてポスター等必要であれば「粗大ごみ担当」まで一度ご相談ください。また今年度、各家庭に配布しております「家庭ごみの分け方・出し方」も参考にさせていただきますようお願いいたします。

粗大ごみ担当 ☎423-1461

- 池や空地に粗大ごみの不法投棄が、多くみられる。
- アパートのゴミ置場のゴミ出しルール守っていない。
- ゴミの減量、分別等を町民に粘り強く伝達するのが最良の方法かと考えます。
- カン、プラなど生ごみにいっしょに入れて出される方がどうしてもいられます。
- 高齢化が進む中、無意識のうちプラスチックゴミの中に色々な物を入れていると言う状態です。注意すると、わからなかったと返事が帰って来ます。そんな中、4月からスタートする（かんビン、ペットボトル）に付いてはどうゆう結果なるか今から、心配している今日です。

生活環境課では、不法投棄の抑止力として不法投棄されやすい場所に掲示していただく、啓発用看板をご用意しておりますのでお問合せください。また現在、町会や近隣住民の皆様のご協力によって「美化運動」の実施や「ボランティア袋」の活用を行っていただいております。今後も、不法投棄されにくい清潔な町づくりを心がけていただけますようご協力をお願い申し上げます。また、共同住宅の違反ごみなどについても、ご連絡いただければ建物管理者及び入居者に対し指導を行ってまいります。

- 不法投棄・違反ごみなどに関して 排出指導担当
- 美化運動・ボランティア袋などに関して 地域美化担当

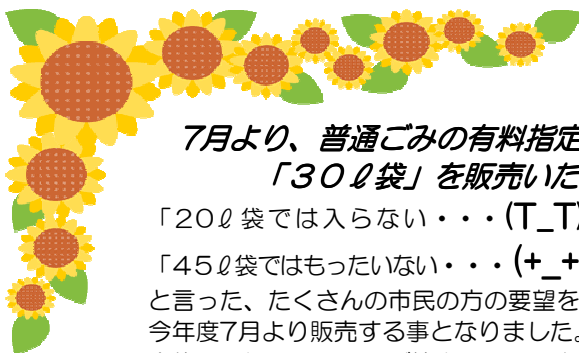
☎423-9444

普段の日常生活からは必ずごみが発生します。そのため、誰にでも非常に身近なごみ問題ではありますが、ごみに対する意識、マナー向上のため、さらに今後、高齢者が急増していく中で分別を理解できないなどの課題には、人と人とのつながりを大切にしたい地域づくりと、地道で継続的な啓発活動も必要であると思われまます。今後も時間の確保と場の工夫による有効な指導方法について検討を重ねてまいります。

なお「粗大ごみ」については現在、電話申込制となっておりますが、自宅前や指定場所までの排出が困難な「高齢者世帯」及び「障害者世帯」などの方に対しては、職員が粗大ごみを自宅内から運び出して収集するサービス『ふれあい収集』を行っています。ご質問・ご相談等あれば上記「粗大ごみ担当」までご連絡していただきますようご指導ください。

市ではごみの減量とリサイクル、また地域のコミュニティ形成を図るための方法として、各町会・子供会などによる集団回収を行っていただいております。平成26年度の「集団回収登録団体数」は、約200団体となっております。

ごみの中でも新聞、雑誌、段ボールなどの古紙も大切な資源です。地域で集団回収に取り組むことは、参加した方々のリサイクルに関する意識を高揚させる効果があり、また、回収量に応じて市からの奨励金も交付しています。この集団回収の更なる促進により、より一層のごみ減量効果に期待しております。



7月より、普通ごみの有料指定袋「30ℓ袋」を販売いたします。

「20ℓ袋では入らない・・・(T_T)」でも

「45ℓ袋ではもったいない・・・(+_+)」

と言った、たくさんの市民の方の要望をふまえ、今年度7月より販売する事となりました。

今後、周知についてのご協力よろしくお願いたします。

普通ごみの有料指定袋 容量と価格

容 量	1セットあたりの販売額
45ℓ	450円 (10枚入り)
30ℓ (7月より発売開始)	300円 (10枚入り)
20ℓ	200円 (10枚入り)
10ℓ	100円 (10枚入り)

「平成26年度 活動報告書」の提出結果について

推進員の皆様には毎年3月頃に「活動報告書」の提出をお願いしております。皆様に提出していただきました「26年度 活動報告書」についての提出結果、またお寄せいただいたご意見などについてご報告いたします。

質 問 事 項	はい	いいえ	未回答
問1. 地域内のごみの減量と家庭ごみの分別指導をしましたか	82.1%	17.0%	0.9%
問2. 有価物集団回収の指導及び協力の呼びかけをしましたか	70.1%	27.7%	2.2%
問3. 家庭用生ごみ処理機器購入補助制度」利用の呼びかけをしましたか	25.4%	72.4%	2.2%
問4. 廃食用油回収の指導及び、協力の呼びかけをしましたか。	92.9%	5.8%	1.3%
問5. 問4が「はい」の場合、廃食用油回収への立会い回数 ■0回 2.7% ■1回~2回 82.5% ■3回以上 6.3% ■未回答 8.5%			
問6. 再生品（トイレトーパー等）の購入の呼びかけをしましたか	29.0%	68.3%	2.7%
問7. 埋立てごみ・小さな金属類などの分別指導をしましたか	94.2%	5.4%	0.4%
問8. 問7が「はい」の場合、埋立てごみ・小さな金属類の回収への立会い回数 ■0回 0.4% ■1回~3回 31.3% ■4回~6回 59.8% ■7回以上 3.1% ■未回答 5.4%			
問9. ごみの不法投棄防止等の協力をしましたか	78.6%	20.5%	0.9%

次に、「問10. その他廃棄物の減量等に関するご意見・アドバイス」でお寄せいただいたご意見・報告等、一部ですがご紹介させていただきます。

- 町会役員さんがやってくれていますので私は一人暮らしの見守りに行っています。
- ゴミの減量、分別等を町民に粘り強く伝達するのが最良の方法かと考えます。
- 生ごみ、缶出す時は、何回となく見に行き袋の口を結んだり整理しています。4月からの新しい出し方にとまどうことも、沢山あると思いつながら、がんばって行こうと思っています。

- 私は、コンポストを設置し、生ゴミは家庭内で処理し、花の土にしております。このため、ごみは少なく、もえるごみは月に1回20リットル1袋程度です。各家庭でもっとごみの減量に努めれば、環境にやさしくなるのと思います。

「生ごみ処理機器 補助金制度」
 本体購入価格の1/2を補助いたします。
 （但し、上限がございます）

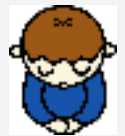
- 電源が必要な処理機器
 「電動式生ごみ処理機」など 上限20,000円
- 電源を必要としない処理機器
 「コンポスト」「EMバケツ」など 上限3,000円

お問合せ：減量推進担当 ☎423-9465

「埋立てごみ」などの立会い、配布物、町内放送など、町会役員の方々も協力していただき助かっているなど、活動の様子についてもご報告していただきました。他にも、「活動はあまり出来ませんでした」「忙しく、立ち会いが出来ませんでした」などの報告もいただいております。

皆さん、お仕事や家族と過ごす貴重なお時間の間に、地域のためのご活動をしていただき感謝申し上げます。

また、4月からのペットボトル分別収集についても、質問や説明などに対応していただきました事にお礼申し上げます。ありがとうございました。



市では、家庭からの生ごみの再利用や減量化を促進するため「生ごみ処理機器」を購入する際、本体購入価格の一部を補助する制度を設けております。（左記下参照）

また、生ごみには水分が多く含まれていますが、その水分を切る事はとても重要です。水分が多いとごみ袋自体が重くなり、しかも、これから夏にかけては腐敗しやすく悪臭が発生したり、それにより、ごみ置場にも虫が寄って来たりなど保管しにくい特徴があります。

いくら分別しても最後まで残る生ごみ。しかし、誰にでも簡単に出来る生ごみの水切りを十分に行う事で、ごみ置き場なども清潔に保つことが出来、ごみ減量にも役立つほか、ごみ焼却場でも効率よく燃やすことが出来るなど、エネルギーの使用量も少なくなり環境負荷の軽減にも役立ちます。

今後もごみを出す際には、ちょっとした工夫やひと手間かけていただく事のご理解とご協力お願いいたします。